

# もりやま顔見え通信

第 18 号 平成 28 年 7 月 1 日



発行：守山顔の見える会

## 「第 18 回守山顔の見える会」が開催されました！

花火が夜空を彩る季節となりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

第 18 回目は、中西歯科医院 歯科医師 中西宣さんから、訪問歯科診療についてお話をさせていただきました。

グループワークでは、話が盛り上がり、活発な意見が飛び交いました。

【開催日】平成 28 年 6 月 9 日（木）18：15～19：45

【内 容】学習会、グループワーク

【会 場】すこやかセンター 3階 講習室

【参加者】医療従事者 30 人、介護関係者 33 人  
行政等 13 人



合計 76 人

## 学習会 「訪問歯科診療について ～在宅での訪問歯科診療を知ろう～」

### 中西歯科医院 歯科医師 中西宣さん

中西歯科医院では、外来通院が困難になった方に対して、歯科医師や歯科衛生士が自宅や施設に出向き、治療や口腔ケア、管理指導などを実施しておられます。

今回は、在宅における歯科診療の実際を教えてくださいました！



#### ①受診の流れ

「むし歯や歯周病で噛めない、痛い。」  
「うまく飲み込めない。」  
「入れ歯を作ってほしい。」など  
本人、家族、ケアマネジャー、病院などからの電話連絡を受けて、自宅や施設に訪問します。

#### ②代表的な治療

- ・口腔ケア
- ・歯垢や歯石の除去
- ・歯肉の殺菌消毒
- ・義歯の作成、調整
- ・歯への詰め物の作成
- ・さし歯の作成 など



#### ○口腔リハビリテーション

口腔内の治療だけでなく、栄養・食事指導や筋肉のマッサージ、運動などによって、低下した口の機能を計画的に回復、維持することができます。多職種によるチーム連携で、途切れることのない支援体制を整えることが重要です。

実際に訪問歯科診療で使う、  
「超音波スケーラー（歯石取り）」  
「デジタルX線撮影」  
「吸引器」  
「ポータブルエンジン」などを  
会場で見せていただきました！



中西歯科医院  
歯科医師 門田紀さん

問題を抱えているにも関わらず歯科受診ができないことで口腔機能が低下し、身体全体へ悪影響を及ぼすことがあります。

訪問歯科診療では、口腔内の病気の発見も含め、口腔内環境の維持を行います。

歯科受診のタイミングを逃さないことが大切です！

**その後、グループで話し合いました。**  
**テーマ：口腔内の健康を守るために必要な視点について**



デイケア等の介護の場で、しっかりと口腔ケアをしてもらえる体制づくりが必要

訪問による歯科の診療ができることを周知・啓発していく。

要介護状態になる前に、なるべく早い段階で口腔ケアを実施していく。

「食べられない→口腔ケアを実施→食べられる→食べる楽しみ」につながることを忘れない。

週1回必ず口腔ケアを実施するなど、継続的な口腔ケアにつなげていく。

微熱が続き、肺炎になった症例について。  
初期の段階での口腔ケア、歯科受診によって肺炎を防ぐことができたのではないかと振り返った。



介護に関わるすべての人が対象者の口腔内の状態を知り、多職種の連携を図るなか、口腔ケアに努めることが必要

口腔内の汚れの危険性を十分に理解できていなかったように思う。

歯周病を含め、全身状態の管理が必要

口腔内のアセスメントが疎かになっていることに気づいた。



～ 感想 ～

- 学ばば学ぶほど、歯科診療の大切さ、噛み合わせや唾液の大切さ、いつまでも食べられる事の大切さが痛いほどわかってきました。
- 歯科診療で実際に使用されている器具等も見せていただけて、実状がよくわかりました。
- 歯科との連携をもっと密にして、口腔ケアを十分にしていける守山市になるといいなと思いました。
- 初めて参加させていただきました。みなさんと顔が見える関係はとても親しみやすかったです。

などの感想をいただきました。

～次回のお知らせ～ \*次回は、第1木曜日開催です。

第19回 平成28年8月4日(木) 18:15~19:45 すこやかセンター3階講習室  
学習会 「在宅での口腔ケアについて(仮)」

モリタ歯科医院 歯科衛生士 青木 由美さんにお話しいただきます。

多くの方にご参加いただき、ありがとうございます。次回もたくさんのご参加をお待ちしています。

問い合わせ：事務局 守山市健康福祉部 在宅医療・介護連携サポートセンター